

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <http://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 将一
 (氏名) 小林 文彦

TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年3月21日～平成24年12月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,934	3.8	1,234	17.6	1,181	18.7	830	2.6
24年3月期第3四半期	14,389	9.5	1,049	—	995	—	810	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 842百万円 (△0.5%) 24年3月期第3四半期 846百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	57.29	—
24年3月期第3四半期	55.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	21,006	7,992	38.0	551.14
24年3月期	20,217	7,223	35.7	498.07

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,992百万円 24年3月期 7,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年3月21日～平成25年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	3.6	800	3.5	730	5.7	600	8.3	41.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	15,595,050 株	24年3月期	15,595,050 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,093,042 株	24年3月期	1,093,042 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	14,502,008 株	24年3月期3Q	14,502,008 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を下支えとして緩やかな回復基調にあったものの、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国経済の減速を背景に世界経済を巡る不確実性が一層高まり、更に円相場の高止まりによる輸出の停滞等、総じて厳しい状況で推移いたしました。一方、足元では株価上昇や円高修正の局面も見せており、景気回復への期待感が高まりつつあります。

当社グループ関連業界におきましては、設備投資は堅調に推移したものの個人消費は力強さに欠ける中、競合他社との価格競争激化に歯止めがかからず、依然として厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、提案型営業を推進し新規顧客の開拓及び既存取引先の深耕など積極的な営業展開を図るとともに、生産合理化や海外部材調達等の推進等、更なる原価低減及び経費削減に努めてまいりました。一方、商品開発部門におきましては、市場環境や顧客ニーズの変化に迅速に適応し、環境問題に配慮した高付加価値商品の開発に一段と努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は149億3千4百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は12億3千4百万円（前年同期比17.6%増）、経常利益は11億8千1百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益は8億3千万円（前年同期比2.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主要製品の門型洗車機は、主力取引先であるSS業界やカーディーラー及び整備工場におきまして、昨年度に引き続き買い替え需要が好調を維持し、販売が堅調に推移いたしました。また、積極的な提案型営業の推進が奏功し、売上高は前年同期比6.2%増の82億8千6百万円となりました。

(情報機器事業)

原発事故に伴う節電の影響で落ち込んでおりましたアミューズメント業界は、引き続き厳しい状況にあるものの更新需要に回復の兆しが見え、SSの価格表示看板にまとまった受注があったことから前年同期を上回る販売となりました。また、官需分野におきましては、前期受注の道路情報板が今期の売上に寄与したことにより、売上高は前年同期比6.9%増の19億2千7百万円となりました。

(生活機器事業)

生活防衛意識の高まりによる個人消費の低迷や節約志向が一層高まり、当生活関連分野におきましては引き続き厳しい価格競争に終始いたしました。保冷米びつは堅調に推移したものの、パン焼き機や農産物低温貯蔵庫は苦戦を強いられ、売上高は前年同期比11.0%減の36億1千5百万円となりました。

(住設機器事業)

子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合サッシ及び反射板式消音装置の製造・施工が主な事業であります。主要取引先である建設業界は依然として厳しい状態が続いており、当社への影響も例外ではなく厳しい状況にありますが、昨年度後半からの受注が比較的好調に推移し、今期の売上に寄与したことにより、売上高は前年同期比63.7%増の9億9千万円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、長野市内で展開しております「長野リンデンプラザホテル」の運営事業及び保険代理業、不動産管理・賃貸業であります。ホテル業は、サービス品質の向上による固定客獲得に努めておりますが、業界全体の競争激化に加え、長引く経済不況の影響を受けて厳しい経営環境が続いておりまして、売上高は前年同期比0.5%減の1億1千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億8千9百万円増加し210億6百万円となりました。流動資産は10億2千5百万円増の116億8千2百万円、固定資産は2億3千4百万円減の93億2千2百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い、売上債権が8億9千8百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ1千9百万円増加し130億1千4百万円となりました。流動負債は1億1百万円増の97億9百万円、固定負債は8千1百万円減の33億4百万円となりました。これは主に短期借入金5億2千8百万円減少したことと未払金が2億6千2百万円増加したこと、長期借入金9千2百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度に比べ7億6千9百万円増加し、79億9千2百万円となりました。これは主に四半期純利益を8億3千万円計上したことと剰余金の配当7千2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年5月2日付「平成24年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,431,977	1,418,398
受取手形及び売掛金	4,462,698	5,360,886
商品及び製品	1,343,222	1,363,961
仕掛品	1,195,648	1,385,936
原材料及び貯蔵品	1,941,668	1,983,780
その他	305,548	195,236
貸倒引当金	△23,208	△25,412
流動資産合計	10,657,555	11,682,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,917,785	2,893,962
機械装置及び運搬具(純額)	317,898	250,700
土地	2,981,164	2,981,164
その他(純額)	158,977	148,343
有形固定資産合計	6,375,824	6,274,171
無形固定資産		
のれん	1,165,907	1,084,258
その他	519,076	512,484
無形固定資産合計	1,684,984	1,596,743
投資その他の資産	1,496,917	1,451,872
固定資産合計	9,557,726	9,322,786
繰延資産	1,937	1,209
資産合計	20,217,219	21,006,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,633	1,391,197
短期借入金	5,569,810	5,041,780
未払金	2,388,728	2,650,975
未払法人税等	80,558	219,655
引当金	276,400	110,772
その他	100,763	294,894
流動負債合計	9,607,894	9,709,275
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	2,833,384	2,740,920
退職給付引当金	230,427	248,863
その他	222,491	215,103
固定負債合計	3,386,303	3,304,886
負債合計	12,994,198	13,014,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	1,893,892	2,652,266
自己株式	△510,121	△510,121
株主資本合計	7,708,466	8,466,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△96,533	△84,320
繰延ヘッジ損益	8,788	7,677
為替換算調整勘定	△397,699	△397,576
その他の包括利益累計額合計	△485,444	△474,218
純資産合計	7,223,021	7,992,621
負債純資産合計	20,217,219	21,006,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年12月20日)
売上高	14,389,662	14,934,266
売上原価	9,829,601	10,042,614
売上総利益	4,560,061	4,891,651
販売費及び一般管理費	3,510,947	3,657,629
営業利益	1,049,113	1,234,022
営業外収益		
受取配当金	17,111	17,939
その他	77,765	38,732
営業外収益合計	94,876	56,672
営業外費用		
支払利息	109,750	85,274
その他	38,727	23,455
営業外費用合計	148,478	108,730
経常利益	995,512	1,181,964
特別利益		
固定資産売却益	378	135
貸倒引当金戻入額	12,024	—
特別利益合計	12,403	135
特別損失		
固定資産売却損	327	3,526
投資有価証券評価損	138,140	41,598
貸倒損失	945	—
貸倒引当金繰入額	360	—
特別損失合計	139,773	45,125
税金等調整前四半期純利益	868,142	1,136,974
法人税、住民税及び事業税	61,041	217,721
法人税等調整額	△2,947	88,368
法人税等合計	58,093	306,090
少数株主損益調整前四半期純利益	810,048	830,884
四半期純利益	810,048	830,884

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	810,048	830,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,916	12,213
繰延ヘッジ損益	1,046	△1,110
為替換算調整勘定	△54,513	123
その他の包括利益合計	36,449	11,225
四半期包括利益	846,497	842,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846,497	842,110

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月21日 至平成23年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	7,803,277	1,803,586	4,061,879	604,767	116,152	14,389,662	—	14,389,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,717	15,723	215,970	54,348	104,702	405,461	△405,461	—
計	7,817,995	1,819,309	4,277,849	659,115	220,854	14,795,124	△405,461	14,389,662
セグメント利益又は 損失(△)	1,231,266	△169,648	667,107	△172,069	30,901	1,587,558	△538,445	1,049,113

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△538,445千円には、セグメント間取引消去24,336千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△562,782千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月21日 至平成24年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,286,155	1,927,271	3,615,214	990,071	115,552	14,934,266	—	14,934,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,069	26,267	248,667	5,276	103,748	391,028	△391,028	—
計	8,293,224	1,953,539	3,863,881	995,348	219,301	15,325,294	△391,028	14,934,266
セグメント利益又は 損失(△)	1,272,438	△45,356	591,779	△45,966	32,173	1,805,068	△571,046	1,234,022

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△571,046千円には、セグメント間取引消去19,563千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△590,609千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。